



金井中だより



〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保乙40番地 TEL 0259-63-4107
E-mail kanai-js@sado.ed.jp http://kanai-js.sado.ed.jp/

R5年度の折り返しに際し ～“今日より明日”のInnovation～

校長 雑賀 裕

4月から始まった R5 年度も半年が過ぎ、10 月から後半戦となります。これまでの取組を検証し、“これから”を考える節目の時期となりました。

本号では、生徒の学習状況を確認する一資料として行われている「全国学力学習状況調査」の結果概要を掲載いたしましたので、ご覧頂きたいと思います。

当校の本年度の学習指導における重点取り組みは、平均値だけを追うのではなく、全ての生徒が学びを実感できる授業の工夫を掲げて取り組んでおります。ご家庭と連携しながら、生徒の「未来を切り拓く力の“芽”」を育てていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～お知らせ（保護者・地域の皆様へ）～

近年の社会情勢を踏まえ、また、ボーダーレスとなっている学校の教育活動の明確化・焦点化を図るために、様々な視点から活動や決まりの見直しと改善を進めております。以下に一例を紹介いたします。

No.	項目	変更・検討内容
1	校内マラソン大会	道路使用許可取得が困難、授業時数確保、行事精選等により、大会を廃止し教科体育（授業）で長距離走に取り組む。
2	土・日の部活動	月2回以上の活動停止日（土日とも）を設ける
3	制服	現行の男子用・女子用をA・Bタイプとして選択できる方向で検討中（R6年度実施を目指す）
4	PTA 組織	「PTA 主催事業」から公募制による「学校サポートボランティア」への変更を検討中（アンケート実施中）

~~~~~ 生徒の活躍の記録 ~~~~~

○佐渡市中学校駅伝競走大会（9/14）

女子 第2位 金井中学校（下越地区大会出場権獲得）

1区 1年：菊地菜々子 2区 3年：渡邊花観 3区 1年：山川 紬

4区 3年：北見結愛 5区 2年：関根さら

男子 第6位 金井中学校（下越地区大会出場権獲得）

1区 3年：山城太一 2区 3年：島岡隼人 3区 2年：遠藤丈琉

4区 3年：平田零龍【区間賞】 5区 2年：森田 耀 6区 3年：後藤幸成【区間賞】

○佐渡市子どものための科学祭り 児童生徒科学作品展（9/17、18）

奨励賞 1年：伊藤優星「イカの構造模型」 1年：廣瀬結人「コケの研究」

1年：山本武司「蜂の標本」

全国学力・学習状況調査の結果

全国の3年生を対象に、4月18日に調査が行われました。この調査は、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

1 「各教科の平均正答率」

(1) 結果

	国語	数学	英語
金井中学校の正答率 (%)	73	47	41
佐渡市平均正答率 (%)	66	41	37
新潟県平均正答率 (%)	70	49	41
全国平均正答率 (%)	69.8	51.0	45.6
全国平均との差	+3.2	-4.0	-4.6

(2) 考察及び改善策

国語	数学	英語
出題された問題ごとにもほとんどの問題で全国平均正答率を上回った。正答率が低かった2問は、いずれも記述する問題であった。	視覚的データを読み取り考察する問題の正答率は、10%ほど高かった。基本的な代数計算を不得意としている生徒が多い。	日常的な話題について、情報を聞き取ったり読み取ったりする問題は、全国平均を上回った。自分の考えや理由などを書くことが苦手な生徒が多い。
説明文の筆者の意見に対する自分の考えや物語文の感想を書く機会を増やし、文章を自分の生活体験と結びつけて考える練習をしていく。	基礎的知識を定着させることを最優先に進める。授業では「3年間の計算問題」に関する小テストを実施し、知識の定着を図る。	書きたい内容について既習事項を使ってどのように表現出来るかを話し合ったうえで書く活動を設定し、書く力の向上を図る。

2 「生徒質問紙」

(1) 結果 (全72問中、金井中の学校評価項目の1つである(12)に注目し、関連質問を抜粋)

質問番号	質問事項	肯定的評価の割合		全国との差
		金井中	全国	
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか。	72.3	81.8	-9.3
(4)	自分には、よいところがあると思いますか。	74.5	80.0	-5.5
(5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	91.5	87.3	+4.2
(7)	将来の夢や目標を持っていますか。	70.2	66.3	+3.9
(14)	友達関係に満足していますか。	87.3	88.7	-1.4
(37)	1, 2年のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	76.6	79.2	-2.6
(44)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか。	72.4	77.9	-5.5
(45)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	53.2	71.6	-18.4
(17)	学校の授業時間以外に、普段(月～金)どれくらいの時間勉強しますか。 ※「1時間未満～全くしない」生徒の割合	61.7	33.9	+27.8
(18)	土日や学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間勉強しますか。 ※「1時間未満～全くしない」生徒の割合	54.6	34.2	+20.4

(2) 考察及び改善策

(12)の肯定的評価が全国平均より10ポイント近く低い原因として、自己肯定感の低い生徒がいること、学習面のつまずきや消極的な取組、夢や目標はあるが努力する姿勢が希薄であることが考えられる。

1学期末生徒アンケートでは、「学校が楽しい」の肯定的評価は84%に増えているが、調査結果を踏まえて次の内容に取り組んでいく。①学力が低い生徒に対する一層の支援 ②目標に対する行動指針を自ら決めて実践する活動の実施 ③話し合いの中で自分の意見が尊重される経験の回復